



JA

## AV レシーバー RX-V381

かんたん設置ガイド

Manual Development Department  
© 2016 Yamaha Corporation2016年1月発行 KS-A0  
Printed in Malaysia

ZT78560

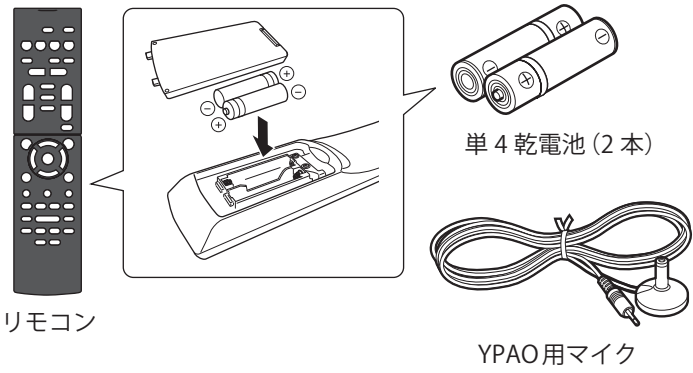
- ご使用前に「取扱説明書」の「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 本書では、5.1 チャンネルシステムを設置して、本機でBD/DVDのサラウンド音を再生するまでの手順を案内します。詳しい説明は、別冊の「取扱説明書」をご覧ください。
- 本書と「取扱説明書」のPDF版を以下のウェブサイトからダウンロードできます。  
<http://download.yamaha.com/jp/>

### AV SETUP GUIDE



「AV SETUP GUIDE」はAVレシーバーとテレビ、プレーヤーなどの再生機器との接続、スピーカーとの接続をわかりやすくガイドするアプリです。詳しくは、App StoreまたはGoogle Playで「AV SETUP GUIDE」を検索してください。

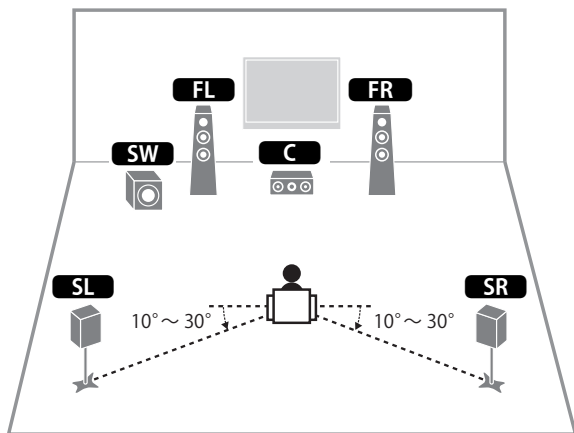
## 1 本書で使う付属品



5.1 チャンネルシステムを設置する場合、以下のケーブルをご用意ください。

- スピーカーケーブル (5 本)
- モノラルピンケーブル (1 本)
- HDMI ケーブル (3 本)

## 2 スピーカーを配置する



図を参考にスピーカーを配置してください。

- FL** フロントスピーカー (左)
- FR** フロントスピーカー (右)
- C** センタースピーカー
- SL** サラウンドスピーカー (左)
- SR** サラウンドスピーカー (右)
- SW** サブウーファー

## 3 スピーカー/サブウーファーを接続する

スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから外してください。また、サブウーファーの電源を切ってください。

### ・スピーカーケーブル接続のご注意

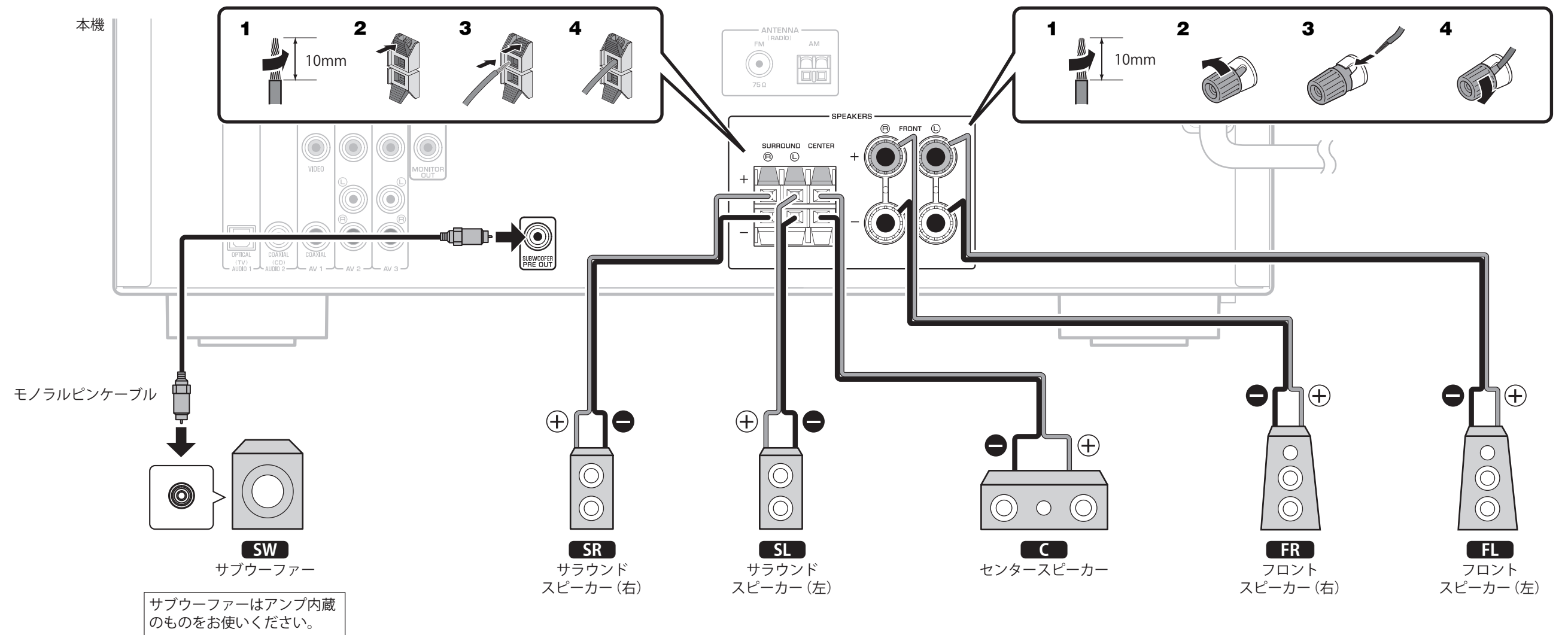
正しくない方法で接続すると、スピーカーケーブルがショートし、本機やスピーカーが故障する原因となります。

－芯線の先端をしっかりとよじる

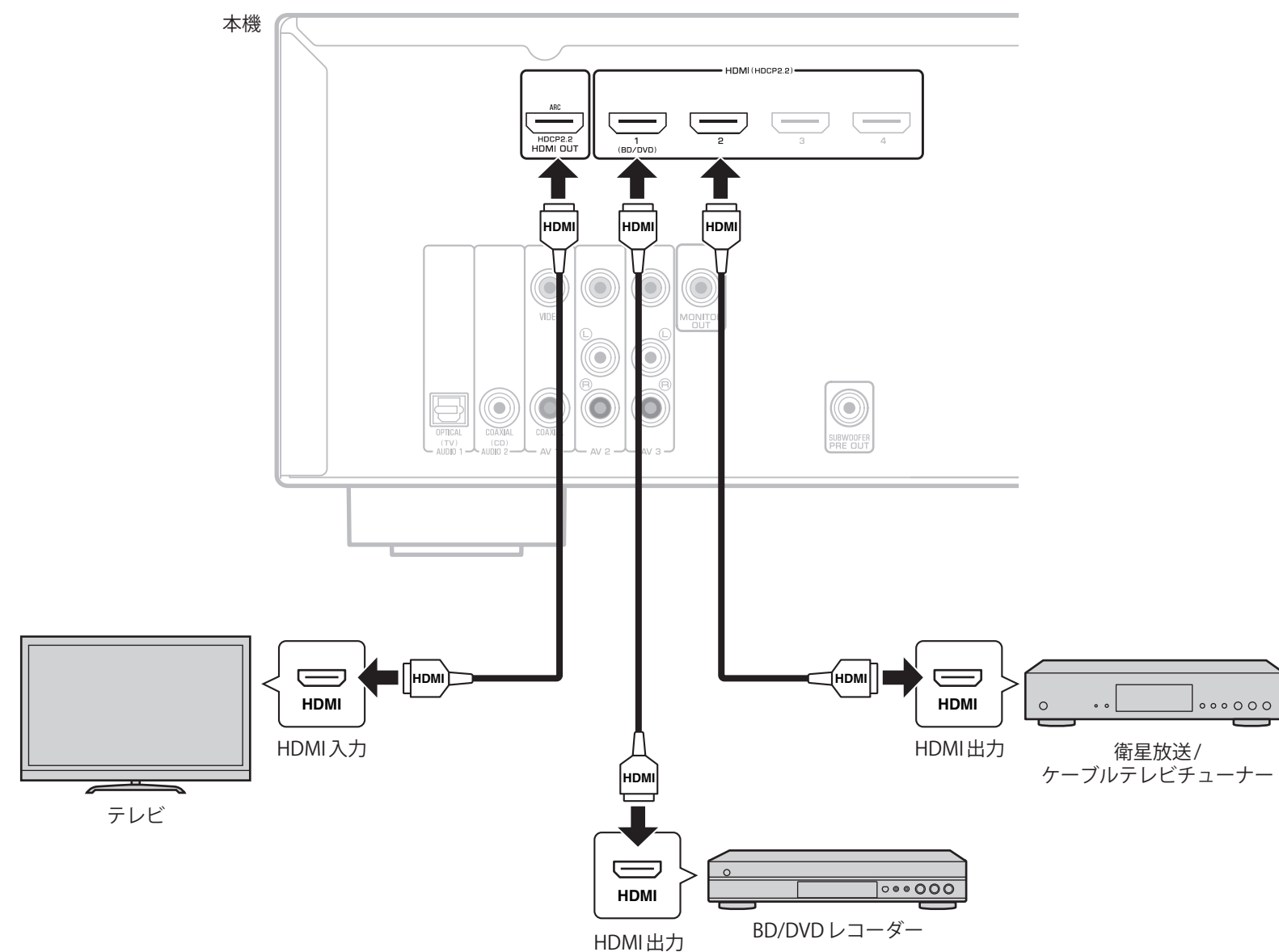
－芯線どうしを接触させない

－芯線の本機の金属部（背面のパネル、ネジ）に接触させない

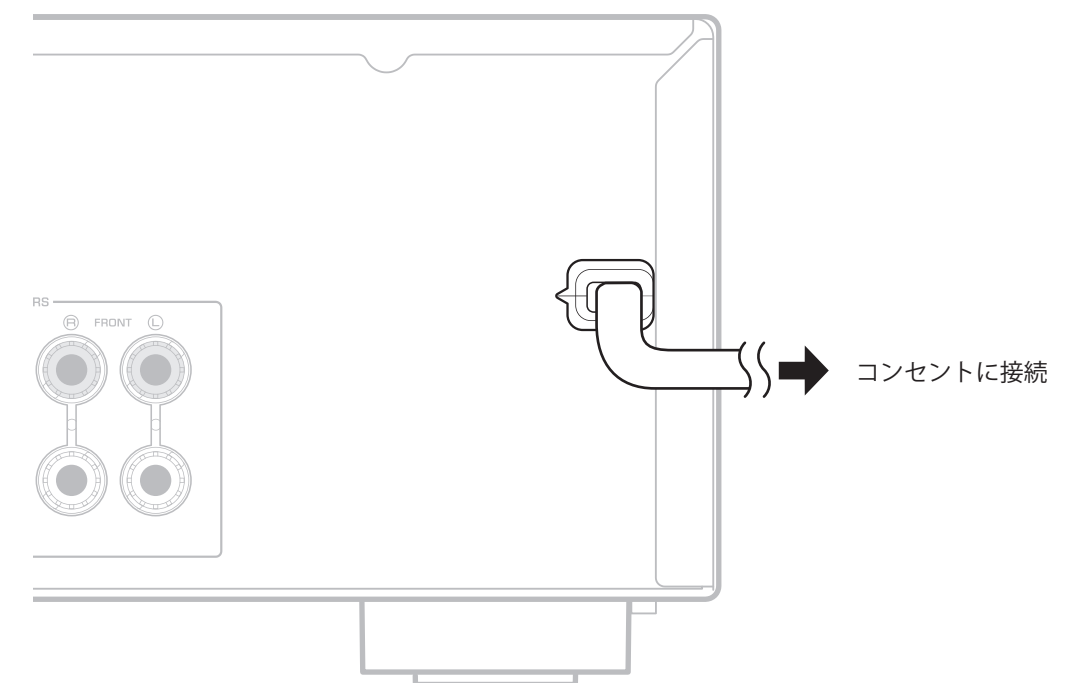
電源を入れて前面ディスプレイに「Check SP Wires」と表示された場合は、電源を切り、スピーカーケーブルがショートしていないか確認してください。



## 4 外部機器を接続する

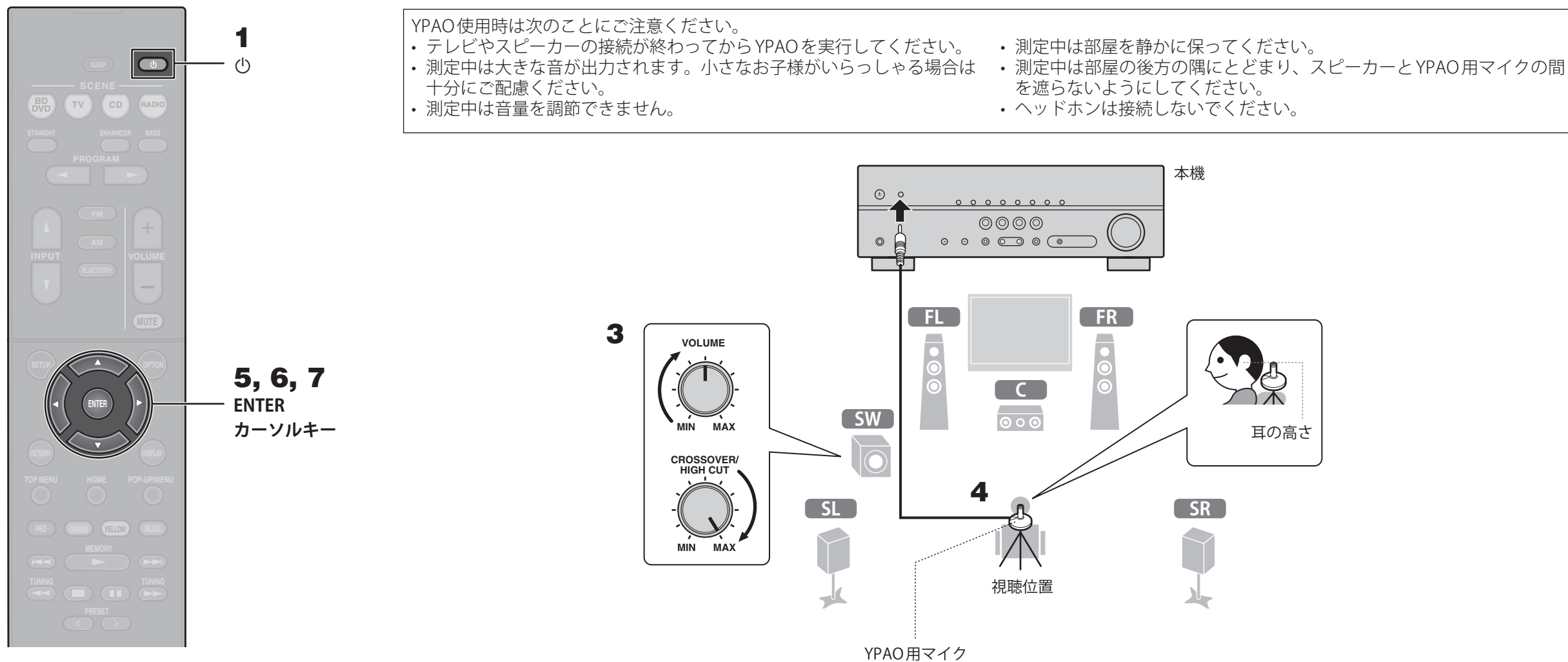


## 5 電源コードを接続する

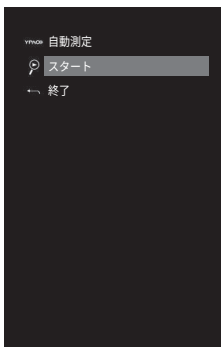


## スピーカー設定を自動で調整する(YPAO)

付属のYPAO用マイクを使って、スピーカーの接続や視聴位置との距離を検出し、音量バランスや音色などのスピーカー設定を自動で調整します (YPAO：Yamaha Parametric room Acoustic Optimizer)。



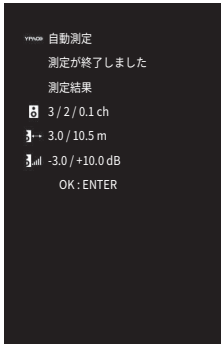
- 1 〇 (レシーバー電源) キーで本機の電源を入れる。
- 2 テレビの電源を入れ、テレビ側の入力を本機 (HDMI OUT 端子) からの映像に切り替える。
- 3 サブウーファの電源を入れ、音量を半分に調節する。クロスオーバー周波数を調節できる場合は最大にする。
- 4 付属のYPAO用マイクを視聴位置に置き、前面のYPAO MIC 端子に接続する。  
テレビに次の画面が表示されます。



YPAO用マイクを視聴位置 (耳の高さ) に置きます。三脚などをマイクスタンドとしてお使いください。三脚のネジを使ってマイクを固定できます。

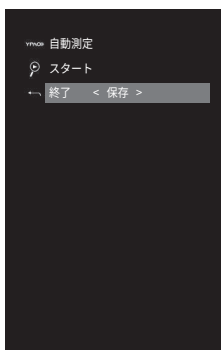
- 5 ENTER キーを押す。

10 秒後に測定が始まります。所要時間は約3分です。測定が終わると、テレビに次の画面が表示されます。



- エラーメッセージ (E-1 など) や警告メッセージ (W-2 など) が表示された場合は取扱説明書「スピーカー設定を自動で調整する (YPAO)」の「エラーメッセージ」または「警告メッセージ」をご覧ください。
- 警告メッセージ「W-1：SP 接続逆相」が表示された場合は、右記の「「W-1：SP 接続逆相」が表示された場合」をご覧ください。

- 6 測定結果を確認し、ENTER キーを押す。
- 7 カーソルキー (◀/▶) で「保存」を選び、ENTER キーを押す。



- 8 YPAO 用マイクを本機から取り外す。

これでスピーカー設定は完了です。

## BD/DVDを再生する

実際にBD/DVDを再生してみます。  
サラウンド感を体感するために、マルチチャンネル音声 (5.1ch以上) が収録されているディスクの再生をおすすめします。

- 1 BD/DVD レコーダーの電源を入れる。
- 2 INPUT (△/▽) キーを繰り返し押して、本機の入力を「HDMI1」に切り替える。  
接続した機器によっては、「BD Player」などのように名称が表示されます。
- 3 BD/DVD レコーダーでBD/DVDを再生する。
- 4 STRAIGHT キーを繰り返し押して「STRAIGHT」を選ぶ。
- 5 VOLUME キーで音量を調節する。



機器の名称

- 3 BD/DVD レコーダーでBD/DVDを再生する。
  - 4 STRAIGHT キーを繰り返し押して「STRAIGHT」を選ぶ。
- Note**  
「STRAIGHT」(ストレートデコード) を選ぶと、ディスクに収録されている各チャンネルの音声は各スピーカーからそのまま出力されます。本機の音場効果はかかりません。
- 5 VOLUME キーで音量を調節する。

これで5.1チャンネルシステムを設置して、本機でBD/DVDのサラウンド音を再生するまでの手順は完了です。



フロントスピーカーからしか音が出ない場合や、音の出ないスピーカーがある場合は、「取扱説明書」の「故障かな? と思ったら」をご覧ください。

## 基本的な操作

入力選択と同時に、あらかじめ登録した内容をワンタッチで選べます (シーン機能)。  
購入時の各SCENEキーの入力と音場プログラムは以下のように登録されています。

SCENE キー	入力	音場プログラム
(品)	HDMI 1	MOVIE (Sci-Fi)
(TV)	AUDIO 1	STRAIGHT
(CD)	AUDIO 2	STRAIGHT
(RADIO)	TUNER	STEREO (5ch Stereo)

本機には、さまざまな音場プログラムやサラウンドデコーダーが備わっています。視聴する内容に応じて、お好みのサウンドを選べます。

**STRAIGHT**：音場効果をかけずに、オリジナルチャンネルの音声をお楽しみいただけます。

**ENHANCER**：BLUETOOTH機器などの圧縮音源に音の深みと広がりを加えます。

**BASS**：より豊かな低音をお楽しみいただけます。

**PROGRAM** (◀/▶)：映画、音楽に適した音場プログラムや、ステレオ再生を選びます。

本機の電源を入/切 (スタンバイ) する

音量を調節する

消音する

入力を選ぶ